

平成27年度

一橋大学春季公開講座

文化資源としての 一橋大学

新しいキャンパス案内

大学は古来、文化の集積所でありました。老いも若きもさまざまな人々が、さまざまな荷物を背負って不断に訪れ、居ついてはまた去ってゆく場所。絶えず流転する人間と学問の歴史の中で、豊かな堆積物が腐葉土となって、キャンパスの深い森を養ってきました。その沃土の中には、珍しい記念品をめぐる奇想天外なストーリーや、知られざる苦心の営み、小さな生き物たちから無限の星々までもが、普段は人の目に触れないままに所狭しと埋まっています。大学(University)とは、つまりひとつの宇宙(Universe)なのです。

見えないものが見える魔法の眼鏡をかけて、キャンパス宇宙をめぐる宝探しの旅にご一緒しましょう。

開催日

平成27年6月6日(土) 14:00~17:10

※開会に先立ち、13:15~からキャンパス見学の催しがあります。
(先着30名、事前申込み不要)

定員

250人

会場

一橋大学国立西キャンパス本館21番教室
(JR中央線国立駅下車南口徒歩7分)

申込方法

平成27年6月1日(月)までに
以下URLお申し込みフォームからお申し込みください。
<http://www.hit-u.ac.jp/function/outside/news/2015/0406.html>

一橋大学公開講座

検索

参加費

無料

プログラム

開会挨拶 見えるものと見えないもの

坂井洋史 (言語社会研究科長)

第1部 目に見える資源と環境

銅像、肖像画、建築

小泉順也 (言語社会研究科准教授)

コンサートと音楽活動

小岩信治 (言語社会研究科准教授)

鳥、自然

藤元晶子 (言語社会研究科非常勤講師)

ミニサロンコンサート (休憩)

第2部 文化資源としての言語

一橋のなかの中国と中国語

鈴木将久 (言語社会研究科教授)

ミニマルグローバル言語社会

糟谷啓介 (言語社会研究科教授)

パネルディスカッション

登壇者一同、ほか

[主催] 一橋大学

[後援] 国立市、小平市、立川市、国分寺市、府中市、武蔵村山市各教育委員会



国立大学法人

一橋大学

[申込先・問い合わせ先]

一橋大学総務部研究・社会連携課 〒186-8601 東京都国立市中2-1

【電話】(042) 580-8058 (平日9:00~17:00) 【FAX】(042) 580-8050

【E-mail】res-sr.g@dm.hit-u.ac.jp